

令和元年度 評価結果

高田カトリック幼稚園

1. 園の教育目標

カトリックの「愛の教え」に基づいて、一人ひとりの人格を尊敬と愛情をもって受け入れるように努める。学校教育法・モンテッソーリ教育法を総合的に取り入れ、幼児それぞれの発達に応じた自主活動を行い、他の幼児や教師たちと楽しく関わりあいながら、ゆたかな人格形成ができる適切な手助けと環境を提供するよう努める。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- * 職員の研修
- * 保育環境の充実と見直し
- * 安全管理
- * 情報の共有、発信

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
* 職員の研修	教師としての人間的な成長と専門性のさらなる向上を目指して ・園外への研修へ積極的に参加するように努めた。 特にカトリック幼稚園の教師としての心持ちやモンテッソーリ教育について保育者全員で研修会に参加し、共に学ぶことで共通の理解が深まった。 ・インクルーシブ教育実践の為、作業療法士の方々に積極的に園の保育や子どもの様子の観察に来ていただき、発達の課題や援助の方法等について学ぶ機会を持った。 ・担任と副担任はもちろん、クラスを超えて子ども達を見守り、得た情報を共有することで、子どもの様々な面を捉え、子ども理解を深めるように努めた。しかし日々の業務に追われ、皆で話し合う時間を十分に確保することが難しい時期もあった。 ・子どもの成長への欲求にこたえることができるように、モンテッソーリ教師としての専門性の向上に努めた。コースを卒業したというだけでなく、実践力を高めていくための園内での研鑽、練習時間の確保がもっと必要であった。
* 保育環境の充実	・子ども達の日々の生活が十分にできるように、行事への取り組み方、横割り活動と縦割りクラスでの自由選択活動のバランスを考えることが課題として上がっていたが、すべきことの取捨選択が十分にできなかった。子ども達が真の自由を使って生活できる

	<p>自由な時間（自由に選べる時間）をもっと保障していくことが必要であった。</p> <p>次の年度へ向けて、園の行事の数や種類、行い方などについて、もっと子どもの「今」をよく見て考えていくこと、子どもが真の自由を使って生活できる環境を皆でつくっていくことを職員間で共通理解した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味や関心にあった教材や教材の進め方、出し方、種類などを考えて、魅力ある活動を準備し、環境を整えていこうと努力した。同じところで止まるのではなく引き続き検討していきたい。 ・子ども達が植物に興味を持って関わられるような栽培活動（植える、育てる、観察する、収穫する、食べる等）を行った。戸外での遊びについても、クラスを超えて子ども達が集まり、ルールのある遊びを展開することができた。更に戸外でどのように遊びを展開することができるか、引き続き園庭の環境、遊びを構成していきたい。
<p>*安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面を想定し、子どもも大人も、一人ひとりが動き方を理解して動けるように避難訓練の方法を再度検討し、今年度は、避難訓練の際に防災頭巾を被って頭部を守る練習を毎回取り入れた。繰り返し練習することで使用に慣れ、スムーズに被ることができるようになってきた。色々な状況を想定した訓練を行い、課題が見つかること次の訓練に生かすようにしたが、災害時の引き渡し・家族との連絡については、まだまだ方法等の検討が必要で、訓練の実施にまではまできなかつた。 ・毎年続けている救命講習の受講を通して、けがやアレルギーなどによる体調の急な変化の際の、教員の役割、連携した動き方の再確認を行った。 ・緊急時にも連絡が取れるように、バスの中に携帯電話に替えて無線機を設置した。
<p>*情報の共有・発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教会に園の行事等について詳細にお知らせしたので、多くの協力を得、互いに連携してスムーズに運んだ。 ・一人ひとりの子どもの様子を電話や連絡帳、成長の記録などを通して保護者の方に細やかに伝えるように努力した。 ・HPなどを通して子ども達の生活や育ちを発信していきかけたが、保育中に写真を撮る人手がなく、なかなか発信することができなかつた。HPも扱いやすく、わかりやすいページ構成にする必要がある。

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	
良好	保育者同士日々の思いを伝え合いながら、一人ひとりが子どもの育ちを思い自問自答しながら保育に取り組み、教育内容の向上・改善につながったとともに、教員間、また保護者の方とも信頼の関係を深めることができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
*職員の研修	教師としての人間的な成長と専門性のさらなる向上を目指して、 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちを語り合う時間を十分確保し、園全体で目指す保育や子どもの姿を共有し、子どもを観察する力を更に一人ひとりが養う。 ・モンテッソーリ教師としての実践力（子どものモデルとなる生活の力と環境の構成と維持をする力）を高める。
*保育内容・環境の充実	子ども達が真の自由を使って生活できる環境をつくっていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の日々の生活（自由選択）が十分できるように、行事のあり方、取り組み方、横割り活動を一つひとつ点検し、改善して、横割り活動と縦割りクラスでの生活とのバランスを考えていく。 ・保育室内の環境だけでなく、外で遊ぶ子ども達的环境、内容についても、充実していく。
*安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面を想定し、子どもも大人も、一人ひとりが動き方を理解して動けるように、続けて避難訓練の方法を再度検討し、園と保護者間で共通理解を図る。 ・けがやアレルギーなどによる体調の急な変化の際、職員の役割、連携した動き方の再確認を行う。
*情報の共有、発信	子ども達の中に育っているもの、幼稚園での取り組みを、今まで以上にきめ細かく保護者、教会や地域の方々にも広く知っていただける方法を考え、発信していく。

5. 関係者の評価

*「愛の教え」に基づいての教育法を目標にしていることは、いつの時代においても最高の教育であり、今後も実践に努力することを望みます。そして、まず園児を取り囲む大人（教師、スタッフ）の心身の自己管理が最も大切だと思います。そこにこそ教師としての人間的成長と専門性ができあがると確信いたします。

* 自己評価を拝見し、先生達が日々研鑽を積み、一人一人の子ども達にどのように真剣に向き合っておられるかを改めて教えてくださいました。

今年度は、保育参観、運動会、クリスマス会を見せていただきました。

保育参観では、先生方が一人一人の子ども達にとって、今、何が必要であるかを瞬時に見極め、適切な支援をされていることに感心しました。

運動会とクリスマス会では、高田カトリック幼稚園独自の温かな雰囲気の中、子ども達一人一人が主役で輝く場があり、また、保護者の皆さんも一体となって、子ども達を盛り上げ応援しておられる様子を深い感銘を受けました。

このような行事を作り上げられるまでには、先生達の地道な取り組み、子どもたちの持っている力を引き出し、子ども達一人一人への細やかな指導の賜物だと改めて実感しました。

* 先生方が一つの行事を作り上げる為に、言葉、アイデアを出し合って作り上げた内容を園児達と一緒に発表し、園児たちと喜んでいる姿があります。先生方は、園児の個性そして様々な状況を把握して、その内容を他の先生達と共有し、話し合っているからこそカトリック幼稚園の運営ができていと思います。これからもさらに、神様から授かった子ども達を、自分を愛するように愛してほしいと思います。

* 神父様のお話を聞いて、神様（自分の信仰する宗教）にお祈りして、素直な気持ちで子ども達の話しを聞くように心掛けることを願っています。そして、園児も教職員の方も保護者の方も、心身の健康を保つため、バランスよく食べること（しっかり朝食を取るなど）を実践するように伝えていってほしいと思います。

* 安全管理は、1にも2にも訓練しかないと思います。

送迎バスに無線機の設置はとても心強く感じました。

とにかく「今」「現在何を」と常にアンテナを張って、一丸となって前進してください。

→ 今年度は、保育参観や行事などに評価委員の皆様にお越しいただきました。その中からカトリック幼稚園の使命、保育の神髄にせまる言葉を改めていただきました。

社会がどのようにかわっても、変わらない土台と願い「子ども達と共に、同僚と共に祈り、心に平和と喜びをいただいて、幼い子ども達が神様と人に愛され、信頼と安心によって心を満たされて成長していくにふさわしい環境、生活を作り守ること」を皆で再度確認して、次の年度へと歩を進めてまいります。